

会 議 録

会 議 名 (付属機関等名)	平成24年度第5回 川西市行財政改革審議会			
事 務 局 (担当課)	総合政策部 政策推進室 行財政改革課 (内線:2112)			
開 催 日 時	平成24年8月27日(月) 18:05~18:25			
開 催 場 所	川西市役所4階 庁議室			
出 席 者	委 員	市村 和雄 藪野 忠利 常岡 多加子	水鳥 能伸 草留 愛 和島 一吉	細井 雅代 田中 淑子
	そ の 他			
	事 務 局	総合政策部長、政策推進室長、行財政改革課長、行財政改革課長補佐、行財政改革課主任		
傍聴の可否	可	傍聴者数	1人	
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由				
会 議 次 第	1 開会 2 答申について 3 その他			
会 議 結 果	1 開会 2 答申について 水鳥会長より市長に「川西市行財政改革のあり方」について答申した。 3 その他			

会長	<p>定刻を少しまわりました。ただいまから、「平成24年度第5回川西市行財政改革審議会」をはじめさせていただきます。</p> <p>本日は、大変お忙しい中、川西市行財政改革審議会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>当審議会は、川西市行財政改革審議会規則第3条によりまして、『委員12人以内で組織する』となっております。前回申し上げましたとおり、1名の御退任がございましたので、現在の総委員数は、11名で組織されておるところでございます。</p> <p>本日到きましては委員3名が現在のところ欠席されておりますが、当審議会規則第6条第2項にあります『審議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。』という定員数に関する規則は満たしておりますので、当審議会は有効に成立しておりますことを、まずご報告申し上げたいと思います。なお、欠席委員のうち2名につきましては、遅れて来られる可能性があるかと聞いておきまして、会議中に事務局のほうに連絡が入ると思います。</p> <p>それでは、早速ですが、事務局から本日の資料等についての確認、あるいは説明等をしていただきたいと思いますので、よろしくお願いたします。</p>
事務局	<p>【配布資料の確認】</p> <p>【会議公開の旨報告】</p>
会長	<p>ありがとうございました。それでは議事を進めてまいりたいと思います。</p> <p>答申につきましては委員の皆様から頂きました、ご意見、並びに前回の審議会での議論をふまえまして、事務局と私が相談のうえ、答申案をまとめさせていただきました。その後、事務局よりタイトな日程ではございましたが委員の皆様へご意見等の依頼をさせていただきました。その意見を集約したものについては、前回の審議会におきまして、皆様から私に一任を受けましたが、特にご意見等がございませんでしたので、皆様へメール送信等させていただいた答申書を本日答申する内容とさせていただきます。</p> <p>それでは皆さんと、協議を重ねてまいりました本審議会の答申もようやくまとまりましたので、これより市長のほうへ答申したいと思います。</p> <p>事務局、よろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>はい、会長をはじめ委員の皆様におかれましては大変厳しい日程の中、川西市の行財政改革に関しまして本当に熱心なご議論を頂きまして本当にありがとうございました。それではただいまから川西市行財政改革審議会においてご審議いただきました、川西市行財政改革の在り方につきまして、市長の方に答申をいただきたいと存じます。</p> <p>それでは市長、水鳥会長、どうぞよろしくお願いたします。</p>
会長	<p>川西市長大塩民生様、川西市行財政改革審議会会長水鳥能伸。川西市行財政改革の</p>

	<p>在り方について答申。平成 24 年 6 月 21 日付けで諮問されました、みだしのことについて慎重な審議の結果、別紙のとおり答申いたします。</p>
市長	<p>はい。ご苦労様でございました。</p>
会長	<p>ただいま、ご覧のとおり、無事本審議会といたしまして、諮問された川西市行財政改革についての答申を行う事ができました。これも各委員のご協力あってのことです。ありがとうございます。せっかく市長もこの審議会に在籍していただいておりますので、もしよろしければ各委員の皆さんより簡単でけっこうですので、一言これまでのご感想や想いのほどを直接市長に自由におっしゃっていただければ、審議の内容がしっかり市長に伝わって、今後の改革へと弾みになるのではないかと思います。</p> <p>それではですね、決してレディーファーストというわけではないんですが、これまでに携わってきた、なんていうんでしょうか、想いのほどでけっこうですが、そういうものを。</p>
委員	<p>突然なので、まとまっていないですけども、これまで川西市さんの大変努力をされてずっと改革をされてきたんですけども、これからやはり、新しい時代ということで、また違った方面での改革というのが、やはり今後 5 年、10 年、20 年先を見た時に必要になってくるのかなということで、そういう気持ちをもって色々と意見を述べさせていただきました。以上です。すみません、そんなことで。</p>
会長	<p>ありがとうございます。では、委員。</p>
委員	<p>手探りの状態からまた皆様のご意見を伺っていたら、こういう考え方もあるのかという、また新たな視野が広がったような感じなんですけれども、色々意見を出させていただいたものをみんな吸い上げていただいて、こうして反映していただいた、答申になりますんで、こちらのほうですね、ぜひ今後の視点に反映させていただきますようよろしくお願いいたします。以上でございます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。委員いかがでしょうか。</p>
委員	<p>ちょっと私の方は時間調整ができなくて、参加させていただいたのが 2 回で。前回させていただいた時に非常に意見がいろいろ活発に出て一体これはまとまるのかなというそういう思いでいたんですけども、私は私なりに、ひとつの事業という私の中で思うんですけども、エネルギーが、どうしてもこう行革とかたちになれば、どうしてもエネルギーが中に向いてしまうというね。やっぱり事業というのは外に向くということがなければ駄目じゃないかなと思っていて、節約ということをあまり考えすぎると、どんどんエネルギーが中に向いて、全く外にはエネルギーが向かないと</p>

	<p>いう事になりますので、そういうちょっと恐れがあるなという中で、今後、川西市の方もそういうことを含めて全国に川西市というものをもっともっとアピールできるようなね、外向きのエネルギーを考えながらやっぱりこう財政改革をしていくっていうようなかたちができれば、一番いいんじゃないかなという気がします。だから我々事業をしていく中でいつも思うのはエネルギーを中に向けたら駄目やと。だから人員削減とかね、経費削減というのはあるんですけどもね、それにこだわりすぎたら何もできないということになりますのでね。そういう観点からやっぱり市の行政の方もそういうことを含めた中での考え方というのも大事ではないかなというような思いもします。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。では、委員。</p>
<p>委員</p>	<p>なにもわからないまま、1回目出させていただきまして、えらいところに来たなというものが本当に率直な感想で、何をどう考えていいのかと思いつつ来させていたんですけれども、その中で皆さんのご意見聞きながら、そうなのかというので、私なりに一生懸命考えてきたんですけれども、本当に言葉1つにしてもわからないことだらけで、大きなことってあまりわからないので生活に密着したようなことばかり言ったので、本当に事務局の皆さんとか本当に皆さん失笑されたのではないかなとかいう思いはあるんですけども。でも川西市の事を考えるいい機会を頂いたかなと思って一生懸命考えさせていただきました。本当にありがとうございました。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。では、委員、お願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>ボランティア団体の中におりまして、そういう方向しか見ておりませんでしたけれども、さて、行政改革という難しい問題に取り組まなくてはいけなくなりまして、初めは即何を言ったらいいのかなともものすごく構えていたんですけれども、そのうちに皆さんのおっしゃっていることがだんだん理解できるようになりまして、周囲の人の意見を聞いたりしますと何か意見が沸々と沸いてきまして、ささやかな、小さな意見なんですけれども沸いてきましてそれをここで発表させていただいて、少し取り上げていただいたかなと思って、よかったなと、良いチャンスを与えていただけて良かったなと思っております。川西市を愛しております。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。では、委員。</p>
<p>委員</p>	<p>私もただ、経済用語とかもわからずに参加させていただいて、色々勉強させていただきました。これから私も一生川西市に住んでいくと思っていますし、子供もたぶん川西市で育っていくのでこれで答申した内容をきっちり頑張ってもらって、素敵な川西市にしていっていただければと思いますのでよろしくをお願いします。</p>

会長	はい。ありがとうございました。では、副会長。
副会長	はい、今委員もおっしゃったように私も最初色んな意見が出て、この答申まとまるのかなと非常に心配になりました。というところか、私自身副会長という役を担っているもので、人の出された資料とか意見に関して批判的なことをすぐ言えるんですけど、なかなか建設的な前向いた意見をこう自分なりに出せと言われるとなかなか出てこないなというのをつくづく感じました。それでも皆さん最後、事務局の努力もあってどんどん方向性が見えてきて、建設的な意見も出てきて、水鳥会長の御足労もあり、答申がまとまったのかなと、非常によかったと思います。私あんまり役に立てませんで非常に反省しておりますけれども。この答申、川西市みなさんの気持ちもっていますんで、ますます良い川西市を作っていただきたいと思います。
会長	現在のところまだお見えにならない委員も積極的に審議に参加していただきましたし、もうお1人の委員も川西市ご在住という事で熱い議論をしていただきました上に、メール等できっちりのご意見を述べていただきました。残念ながら別のもうお1人の委員は今日は欠席でございますけれどもその委員もご審議に非常に積極的に参加いただいたことで、その想いは答申書の中にしっかり受け止めさせていただいたと思います。
	私個人としましては、行財政改革というのは、決して不況であるから行財政改革ではなく、やはり持続可能な社会を目指す中で常に絶えずいつでも行財政改革というそういう形で取り組んできたつもりです。こうした我々の意思を、意見をぜひとも市長には汲んでいただきまして、今後の市政運営にぜひともお役立ていただければと思います。
	どうもありがとうございました。 それではここで一旦、事務局にマイクをお移ししたいと思います。
事務局	皆様大変ありがとうございました。 ただいま頂きました、答申並びに皆様方のご意見を受けまして、市長から、審議会委員の皆様に対しましてご挨拶頂きます。 市長、よろしく申し上げます。
市長	はい。それでは改めましてこんばんは。市長の大塩でございます。 本日で最終回ということで、当審議会第5回目ということでございます。 本当に皆様方にはお忙しい中ですね、そして今もご意見を聞かしていただくと、随分と戸惑ったというお声も。本音のところやと思う所でございますけれども、そんな中で非常にまとめていただきまして、今日諮問の答申をいただいたところでございまして、本当にありがとうございますといいますが、ご苦労さまでございました。感謝を申し上げたいと思っておりますのでございます。

今皆様方から色々のご意見を聞くなかでですね、今改めて市の課題とかそんなことを指摘をといいますか、勉強になったという委員の意見を皆さんも聞いたところでございますけれども、市といたしましても、やはり川西だけではございませんけれども、少子高齢化という大きな課題もございますし、また今、税と社会保障と税の一体改革、先日も消費税の問題等で国の方でも議論されて、この8月22日にそういう結果が出てきたところでございますけれども、やはりその社会保障の経費というのはどんどん膨らんでいることも事実でございます。今、多くはですね、今まで以上に社会保障というのが、10年前に比べますと倍増しておるというのも事実でございます。また、そんなことからですね、なかなかこう行財政改革に今取り組んでいるところでございますけれども、どうしても公共施設というものの整備が遅れてきているところでありまして、やはりそうこともしっかりと見直していかなければならないと、そのような想いでございます。更には、こんないい方したらなんですけど、市民ニーズが多様化しているというふうな非常に表現つかえますけれども、いろんな考え方の皆さん方の多く。そしてどちらかというとはですね、自分がいいところについてはあまり関心がないのですが、少し不自由になりますと問題がある。これも現実の問題だと思います。そういうふうな問題も皆さん方のお声もどう対処していくか。たくさんございます。ただですね、こういうふうな行財政改革といいますと、なんとなく締め付けるといいますか、今水島会長さんからも意見ございましたし、また他の委員からもございまして、締め付けるだけではやはり目指している改革につながるかという、決して私はそうではないと思っております、伸ばすところをしっかりとやることも改革の1つだと思っております。そういうふうな想いをしっかりと皆さん方と共有していく、そのようなことが必要だと思っておりますので、ただですね、もう一つこれもおっしゃってございましたけれども、今回この今の経済情勢の中で、こんな時代だからこそ行財政をしていうんだ、改革をしていくんだということが、どうもカットにつながっていくというイメージでございますけれども、これはやはり会社もそうでしょうし、地域もそうですし、すべてに言えることだと思いますけれどもやっぱり始末をするところは、無駄なところへは始末をしなければなりません。今申し上げた投資する部分にはしなければなりません。改めて再確認をしたところだというふうに思っております。

色々皆様方から意見を頂戴しました。そのようなことも踏まえましてですね、私といたしましては、ただいま頂きました、答申案。非常にもう十分に尊重してですね、これからの行財政改革の基本的な方向性や考えというものも改めて示すこととなります、行財政大綱、そのようなことの策定に取り組んでまいりたいと。皆さん方のご意見を尊重して取り組んでまいりたいと、そのように思っております。更にはですね、これからの年次計画といいますか、そして具体的な数値目標、そのような、具体的な事にも取り組みながら、川西では来年度から第5次の総合計画ということに取りかかってまいります。今、準備をしておるところでございますけれども、そんな中で行財政改革というものも、しっかりと皆さん方の答申を生かしながら進めてまいりたいと、そのように思っております。

は、短い期間ですね、6月21日ですか、わずかの期間の中にこのように非常に厳しいタイトなスケジュールでやっていただきました、そしてこのようなことをまとめたいただいたところでございますけれども、これで終わりではないことではなくてですね、今後につきましてもこの行財政運営の色々経験していただいたことを市政の推進につきましても、今後ぜひお力を貸していただきたいと、あつかましいお願いでございますけれども一つお願いをしておきたいというふうに思いますとともにぜひ皆様方もこんな時代でございますが、どうぞご健勝で、これからもそれぞれの分野におきまして、ますますご活躍されることを祈念申し上げます、私から御礼の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

会長

どうもありがとうございました。非常にタイトな日程で進んでまいりました、本審議会でございますが、なんとか無事答申までこぎつけることができました。

私個人としましても上手く皆様方から意見をお出しいただき進んで積極的に審議に参加していただけたかどうか常に自問して今日までやってまいりましたけれども、本当に本日までご苦勞おかけしました。どうもありがとうございました。

また併せて上手く我々をサポートしていただきました事務局にも個人的にお礼を申し上げたいと思います。どうもありがとうございました。

本日はこれで閉会といたしますが、次回開催でまた、本日はお集まりいただきました皆様方とお会いできることを私も個人的に楽しみにしております。

これで本日は散会させていただきます。どうもありがとうございました。